

Ryugasaki

vol. 195

2020
October

たつのご産直市場
秋の味覚が盛りだくさん



たつのご産直市場では
地元で育った新鮮な農産物や
龍ヶ崎市観光物産協会オリジナルブランド
「プティ アクーエ 龍ヶ崎」に認証された
商品をはじめとした物産品などが
販売されています

生産者が手間暇をかけた
地元産の逸品をぜひご賞味ください



場 所 大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎
市文化会館）駐車場内
営業時間 10時～18時
店 休 日 毎週月曜日・火曜日
年末年始（12/29～1/3）

第3回 定例会

議

決

結

果

議案番号	件名	議決結果
第1号	龍ヶ崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
第2号	龍ヶ崎市手数料条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
第3号	龍ヶ崎工業団地企業誘致調査委員会設置条例を廃止する条例について	全員賛成で可決
第4号	市有財産の取得について (令和2年度龍ヶ崎市立小中学校GIGAスクール用端末購入)	全員賛成で可決
第5号	あっせんの申立てについて	全員賛成で可決
第6号	令和元年度龍ヶ崎市一般会計歳入歳出決算について	賛成多数で認定
第7号	令和元年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	賛成多数で認定
第8号	令和元年度龍ヶ崎市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
第9号	令和元年度龍ヶ崎市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
第10号	令和元年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
第11号	令和元年度龍ヶ崎市障がい児支援サービス事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
第12号	令和元年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	賛成多数で認定
第13号	令和元年度龍ヶ崎市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
第14号	令和元年度龍ヶ崎市工業団地拡張事業特別会計歳入歳出決算について	賛成多数で認定
第15号	令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第9号)	全員賛成で可決
第16号	令和2年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	全員賛成で可決
第17号	令和2年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
第18号	令和2年度龍ヶ崎市障がい児支援サービス事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
第19号	令和2年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
第20号	令和2年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
第21号	龍ヶ崎市教育委員会委員の任命について	全員賛成で同意
第22号	龍ヶ崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決

※賛否が分かれた議案等()部分)に対する議員の態度については、次ページに掲載しています

報告等番号		件名	議決結果
報 告	第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第7号))	全員賛成で承認
	第2号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第8号))	全員賛成で承認
	第3号	専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて) [公用車をコンクリート壁に接触させ、同乗者にけが等を負わせた事故]	全員賛成で承認
	第4号	専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて) [公用車をコンクリート壁に接触させ、同乗者にけが等を負わせた事故]	全員賛成で承認
	第5号	専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて) [公用車をコンクリート壁に接触させ、同乗者にけが等を負わせた事故]	全員賛成で承認
	第6号	専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて) [公用車をコンクリート壁に接触させ、同乗者にけが等を負わせた事故]	全員賛成で承認
	第7号	専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて) [職員が除草作業を行っていたところ、使用していた草刈機によって小石が飛散し、普通乗用車を損傷させた事故]	全員賛成で承認
令和2年 請願第2号	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める請願	賛成少数不採択	

※報告第8号～報告第13号は、地方自治法施行令で義務付けられている継続費精算報告書等の報告等であるため採決は行いません
 ※請願の内容は、市議会ホームページに掲載しております

賛否が分かれた議案等に対する議員の態度

※採決の結果、賛否が分かれた議案等を掲載しています

※議長(鴻巣議員)は採決に加わりません

○=賛成 ×=反対

議案 番号	議決 結果	賛否数		議員名及び賛否の別																									
		賛 成	反 対	山 宮	久 米 原	大 野 (み)	札 野	櫻 井	石 嶋	金 剛 寺	伊 藤	山 村	加 藤	岡 部	石 引	山 崎	後 藤 (光)	滝 沢	椎 塚	油 原	大 竹	後 藤 (敦)	寺 田	鴻 巣	大 野 (誠)				
議6	可決	16	5	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	×
議7	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議12	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議14	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
請2	不採択	6	15	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	-	○	

「意見書」を提出しました

龍ヶ崎市議会は、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向けて、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を、衆参両院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣へ、9月16日付で提出しました。なお、意見書で要望した主な内容は、右記のとおりです。

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じること
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めること
- 5 固定資産税制度の根幹に影響する見直しは、断じて行わないこと

第3回 定例会

ダイジェスト Digest

審議された主な議案と、本会議で行われた議案に対する質疑の一部について掲載しています。
議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を11ページに掲載しています。

▼条例の改正等

◆議案第2号

龍ヶ崎市手数料条例の一部を改正する条例について

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」等の一部改正により、個人番号に係る「通知カード」が廃止されたことに伴い、本条例においてその手数料を定める「通知カードの再発行」を行うこともなくなるため、当該項目を削除するための改正を行うものです。

◆議案第4号

市有財産の取得について（令和2年度龍ヶ崎市立小中学校GIGAスクール用端末購入）

小中学校GIGAスクール用端末の合計購入価格が、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第3条に規定する予定価格「2千万円」以上であることから、議会の議決を求めるものです。

▼決算（令和元年度）

◆議案第6号

令和元年度龍ヶ崎市一般会計歳入歳出決算について

歳入総額261億3490万526円に対し、歳出総額は、

250億1445万1689円となり、歳入歳出差引額は、11億2044万8837円となります。

そのうち、950万2千円を継続費通次繰越額として、3億4277万5千円を繰越明許費繰越額として、12万2千円を事故繰越し繰越額として、令和2年度へ繰り越すものです。
実質収支は、平成30年度と比較すると約1億4千万円、23%増の約7億7千万円となっております。また、財政の硬直性を示す経常収支比率は94.8%であり、昨年度から0.8ポイント改善しています。

▼補正予算（令和2年度）

◆議案第15号

令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第9号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、4億7526万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、349億5409万9千円とするものです。

（主な事業等）

- ・ 新型コロナウィルス感染症緊急包括支援事業
- ・ 街なか元気アップ支援事業
- ・ 儲かる産地支援事業
- ・ NPO法人応援事業

- ・ 生活困窮者自立支援事業
- ・ 学校再開に伴う感染症対策学習保障等支援事業

◎質疑

伊藤議員 新型コロナウィルス感染症緊急防災対策費について、需用費の内容を伺います。

危機管理監 災害時授乳服（防災Tシャツ）の購入費です。災害発生時に避難所などで授乳することを想定して作られたもので、避難所など、場所にこだわらずその場で授乳できるため、避難をする際の母親の不安解消、避難所でのほかの避難者とのトラブルを防ぐことが期待できます。令和2年4月2日から令和3年4月1日に出生した乳児がいる家庭を対象とし、遡及して配布することを検討しています。



▲乳児がいる家庭に災害時授乳服を配布

金剛寺議員 新型コロナウィルス感染症拡大防止対策費の需用費、電子書籍購入について、内容を伺います。

教育部長 龍ヶ崎市立中央図書館の電子図書館の電子書籍数は、8月末現在で約1万5千冊

ですが、さらに約1万5千冊の購入を予定しています。

感染症拡大防止のため、施設の利用を制限するような場合に備え、電子図書館機能を使った、図書館機能を維持できるような体制の一助にしてまいりたいと考えています。



▲電子図書館をご利用ください

◆報告第1号

専決処分の承認を求めることについて（令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第7号））

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ、2886万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、344億6464万3千円としたものです。

新型コロナウィルス感染症緊急経済対策費として計上しており、国の新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として予算化したものです。

（主な事業等）

- ・ 感染拡大防止協力事業者等支援事業
- ・ 感染症予防対策飲食店等支援事業

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。



事業継続緊急給付金の周知徹底を求める

金剛寺 博 議員

議員 市独自の「事業継続緊急給付金」は多くの事業者が対象になると思われるが、申請はまだ少なく、関係団体にも周知を求めます。

産業経済部長 先の見えないコロナ禍で、申請を保留している事業者も多いため、金融機関、商工会には周知しており、税理士会など関係団体にも周知します。

つぼみ園の移転・療育機会の拡大を求める

福祉部長 城南中統合後は移転や療育室の確保を現在検討中。専門職は今年、公認心理師を雇用したが、言語聴覚士は応募がなく、人材確保の方法を検討する。

議員 城南中内に設置の「つぼみ園」は令和4年の城南中統合に伴い移転が必要です。新施設では療育機会の拡大のため、複数の療育室と常勤専門職の確保を求めます。

原子力災害広域避難協定の見直しを求める

危機管理監 今後、いわき市・福島県・茨城県・国の協議もあるため、動向を注視し、他市町村との調和のとれたものにしていきます。

議員 原子力事故の際、いわき市1万8000人、ひたちなか市1万6千人の避難受入れ協定を締結していますが、コロナ禍の避難所基準では、協定人数の受入は不可能であり、協定の見直しを求め

新型コロナウイルス感染症の対応について

久米原孝子 議員

議員 陽性者の対応について、家庭内感染を防ぐために宿泊療養を望む方にスピーディーな対応が必要になります。軽症者や無症状の方の宿泊療養と自宅療養の現状と、当市の相談体制についてお伺いします。



▲陽性と判明した場合スピーディーな対応を

健康づくり推進部長 竜ヶ崎保健所に確認したところ、陽性が判明した翌日には重症度の判定を行い、翌々日には医療機関への入院もしくは療養施設への入所ができていくということでした。今後、茨城県や竜ヶ崎保健所と連携し、対応してまいります。



▲PCR検査が必要な方へ適切な対応を

議員 茨城県では今後PCR検査を拡充し、検査掲載以外の質問項目◆逃げ遅れゼロへの取り組みについて

山宮 留美子 議員

コロナ禍における 教育現場の負担軽減について

議員 コロナ禍の教職員の仕事量の増大について教育委員会としてどこまで把握して、対応をしているのかを問う。

教育部長 学校では文部科学省の衛生管理マニュアルに基づく感染症対策を講じながら、毎日の業務に当たっている。教職員の仕事の変化については、検温エック、消毒、3密を避けた授業づくり、給食・清掃指導等が行われ、新たに加わった業務が数多く、教職員の負担感や疲労は大きくなったと思う。しかし、衛生管理マニュアルについて、**教育部長** 現状としては、様々なリスクもあるため、スクールサポートスタッフの採用には至っていない。

携帯電話による 緊急通報システムの導入について

議員 一人暮らし高齢者の緊急通報システムは、固定電話で、NTTでなければ設置できないとの事ですが、オレオレ詐欺が横行する中、固定電話を持たない方も増えている。他市町

村では、携帯電話でも使用できる緊急通報システムの導入が始まっている。本市での導入を問う。
福祉部長 先進自治体の事例を参考に、十分な調査研究を行う必要がある。

大野 みどり 議員

コロナ禍で需要が高まる 移動スーパードについて

議員 調査研究の現状と、買い物弱者の実態調査も含め、今後の取り組みの進め方を伺います。

福祉部長 実績のある事業者2社と、意見交換を実施。今後、買い物弱者実態調査の調査方法を検討し、今年度内には、買い物弱者支援の一つとしての移動スーパードの考え方をまとめていく予定で

命をつなぐAEDについて

議員 民間事業者等の、AED設置の把握と市民への情報共有について、そして、AEDマップのウェブ検索上の利便性について伺います。

危機管理監 把握は32件。現在、民間事業者施設等、AED設置状況の確認作業に努め、広く市民へ情報提供できる環境を推進しています。AEDマップは、本年開始し



伊藤 悦子 議員

PCR検査の拡充で 新型コロナウイルス感染症拡大防止を

議員 新型コロナウイルスの感染拡大防止は、いつでも、どこでも、誰もが受けられるPCR検査の実施で陽性者を隔離・保護することです。市内でのPCR検査が医師会のご尽力で始まりまし

た。拡充を求めます。
健康づくり推進部長 検査の需要が増えれば、1日20件まで拡大できます。流行状況を見ながら、市の医師会と調整を図ります。

少人数学級は待ったなし

議員 長期休校による学習の遅れと格差、心の不安やストレスには、一人ひとり丁寧に教えることです。また、人との距離を最低1メートル保つには1教室20人程度です。丁寧な教育と教室での距離を保つため少人数学級を求めます。

教育部長 学習の遅れが生じないよう丁寧な指導を心がけており、文部科学省の衛生管理マニュアル

を踏まえ、少人数学級の取り組みは行っています。
議員 全国知事会・市長会・市町村会の会長連名で新しい時代の環境整備に少人数編成を可能とする教職員確保を文部科学大臣に要請しています。市でも少人数学級の検討をしてください。
掲載以外の質問項目 ◆「道の駅」建設は改めて中止を求める

札野章俊議員

コロナ禍における

雇用助成対策について

議員 新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に深刻な経済的影響を及ぼしています。生活支援のための緊急小口資金貸付け、総合支援資金の申込み件数を教えてください。

福祉部長 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により収入が減少した世帯に対して、3月25日より受付が開始されている特別貸付は、8月末時点で797件、それ以外の理由による貸付けが2件です。

議員 今まさに生活に困窮しているという事実があります。このコロナ禍で世の中が一変し、収入が減少した世帯では深刻な問題になっているはずで、企業の求人数は減少しているため、雇用対策を考へなければならぬと思います。市で行っている、または計画している雇用対策をお示しください。

油原信義議員

広域幹線道路の整備と街づくり！

産業経済部長 本市では、八〇一ワーク龍ヶ崎との連携を図り、そこから毎週提供される龍ヶ崎管内の求人情報を本庁舎1階求人情報コーナーや市公式ホームページを利用して情報提供しています。また、現在、商工会を主体として消費を喚起し、市内経済の循環促進を目的とするプレミアム付商品券事業に取り組んでいます。このような経済活性化のための事業等を通じて、雇用需要が増加し、それが求職者支援とつながることも期待しています。

議員 直近で住宅を購入した方は、返済予定が狂っているのではないかと心配です。主婦が1日、2、3時間でも働けるよう、市内の雇用を増やす施策を考へていただきたい。事業を推進するために補助金をつけても良いと思えます。強く要望します。

議員 本地域は、圏央道を中心とした格子状の幹線道路網の構築を図り、研究学園都市圏との都市間連携と千葉圏との広域連携強化が重要。本域の広域幹線道路として、縦軸として圏央道にアクセスする美浦栄線バイパス、横軸として常磐道へアクセスする(仮)県南広域道路が茨城県総合計画に位置づけられているが進捗状況は！

都市整備部長 美浦栄線バイパスの延伸については、小野川に架かる正直橋付近を起点とし、城ノ内コミセン南側交差点付近を終点とする全長約3.4kmの区間について令和元年度に事業化され、阿見東インターチェンジ南側までの整備は竜ヶ崎阿見線バイパス事業として、圏央道の4車線化に合わせ開通を目指していること。(仮)県南広域道路は、本市にとって国道6

号以西との連絡を強化し、常磐道へのアクセス向上や竜ヶ崎潮来線の渋滞緩和等が期待されます。茨城県は、事業化には沿線市におけるルートの検討協議が必要とのこと、引き続き実現に向けて連携してまいります。

議員 広域的な交通ネットワークが構築されることは、人の流れも産業の拠点化も広域化してきます、言い換えれば都市間競争が益々激化することです、都市間競争を勝ち抜くには、地域の特性を生かした個性ある街づくりが重要。つくばの里工業団地北側の拡張検討エリア、総合運動公園の広域的スポーツの拠点化、安定した水田農業経営の確立や多様なアグリビジネスの展開など、如何に龍ヶ崎に来ていただくか・住んでいただくかの可能性を探求していただきたい。

大竹 昇議員

スマートシティ化と農業ビジネスによる地方創生まちづくり

議員 当市の持続可能な社会には、デジタルとアナログの調和の取れた当市特有の開発が不可欠です。2000年の食料・農業・農村基本法の公布から現在までの農業振興の国策と市の取り組みは如何に。

産業経済部長 農地法の改正に伴い9法人の設立。農地中間管理機構の推進で、1238haの農地の集積。ドローンによる農薬・肥料の散布や画像解析による生育管理、自動運転トラクター等、農作業用機械のIT化。国は農業データのプラットフォームである農業データ連携基盤「WAGRI」を開始。

議員 県下でアグリビジネス開発をしている常総市の計画概要について、伺います。
産業経済部長 常総市のアグリサイエンスバレー構想では、14haの農業生産エリアで、大規模施設園芸、観光農園を展開、31haの農業団地エリアで、市内外の農産物の加工、流通産業、物流系の企業誘致、道の駅、直売所などの整備を計画しています。

大竹 昇議員

議員 県下で地方創生活付金を得た上位3市町の額と事業を伺います。
市長公室長 境町は、「河岸のまちさかい」復興プロジェクトや、道の駅さかいの取り組みで約14億6千万円、日立市7億円、潮来市3億円、因みに当市は、3千万円です。

議員 龍ヶ崎市駅周辺から竜ヶ崎駅周辺ゾーンでスマートシティとグリーンツーリズムを意識した複合型まちづくりを。
市長 当該ゾーンはポテンシャルの大変高い宝のエリアであり、可能性を広げなければならない。

石嶋照幸 議員

ウィズコロナ時代における

本市の教育について

議員 端末を活用した本市の特色ある教育についてお聞かせ下さい。

教育部長 本市の特色ある教育である「龍の子人づくり学習」の中で、ICT機器を活用しています。その中でも、特に「みらい学習」においては、生徒が自らの判断や方法で学習用端末を用いて、情報を収集分析して多様な考え方を学びます。



▲端末を有効活用し金融経済教育を！

ウィズコロナ時代の

牛久沼の利活用について

議員 大きな変化が起こるウィズコロナ時代における牛久沼の利活用についてお聞かせ下さい。

市長 利活用の取り組みとして、道の駅整備計画地内の埋設物の調査に向けた国との協議や、牛久沼トレイル整備に向けた牛久沼周辺首長会議への県の参加要請、牛久沼流域自治体への県参画に係

後藤敦志 議員

学校の働き方改革について

議員 教員の時間外在校等時間（残業時間）の現状をお聞かせください。

教育部長 令和元年度、1カ月の平均残業時間は、小学校41時間、中学校60時間程度です。多い方で、月180時間ぐらいです。

議員 最長で月180時間、これは過労死ライン月80時間の倍以上です。この現状を踏まえ、文部科学省は、教師の勤務時間の上限に関する方針の策定を求めています。当市での策定状況をお聞かせください。

教育部長 本年3月に当該方針の基本となる龍ヶ崎市立小中学校の教育職員の方針に関する規則を制定し、現在、策定に向けて準備を進めています。

議員 働き方改革の実効性を担保するのが、策定中の方針です。方針に盛り込む具体的な取組について、メールやLINEの活用ですが、便利さゆえの課題として、不要不急の問合せが増える事が懸念されます。留守番電話は、児童・生徒の緊急時の連絡の際には、対応の遅れが懸念されることもあり、いずれの導入にも検討を要すると考えています。

石引礼穂 議員

龍ヶ崎「ありがとう」

アクションについて

議員 現在展開されている「龍ヶ崎ありがとうアクション」では、「行こう龍ヶ崎のお店へ」のポスターが市内で掲示されています。

議員 現在、国税庁では、税金ってなんだろう「みんなが話し合っ

このポスターの右下のイラストと文面「お店で買い物をする↓お店が続く↓売上の一部が納税↓暮らしを豊かにする資金↓雇用の増加、地域経済の成長、魅力ある街へ」は、地域のお金はどう循環されているのかを、市民に知ってもらいたいという趣意が感じられます。また、文部科学省の「学校と地域をつくる学びの未来」の中に財政教育プログラムというものがありません。

このプログラムは、予算編成シミュレーションなど、アクティブラーニングにより「楽しみながら日本の未来や自分たちの将来について学べるきっかけを提供し、本プログラムを契機にニュースや社会問題をより身近に感じ、日本の将来を主体的に考えることができる主権者になってほしい」という思いがあります。ぜひ当市の教育プログラムの中に入れていただきたいと思います。

今年度から取り組んでいる「龍の子人づくり学習」の中で、地域の

山村 尚 議員

コミュニティバスについて

議員 昨年9月にコミュニティバスの再編が行われました。令和元年事業実績データから再編前後で乗車人数の変化を見たところ、再編後の循環ルートが11%増に対し枝線(旧ABCDE)ルートが2%減でした。一方、コミュニティバス利用実態調査のアンケート結果を見ると高齢者の通院利用が多く、また、佐貫駅(現龍ヶ崎駅)ルートに関する要望が多く見られました。運行ルート、停車ポイントは地区別高齢化率が考慮されているものなのかについて伺います。

議員 龍ヶ崎駅が循環ルートとなることは様々なメリットがあります。市内から市外医療機関等を含めた市外へのアクセス改善、通勤通学の交通手段が増えると同時にバス利用率の増加、公共施設への直接アクセス、駅前ロータリーの混雑緩和などが期待できます。

議員 高齢化率が高く空白の運行エリアが未だ存在します。エリア出入口への信号機設置や狭い道への小型ワゴン車運行など柔軟な対応が必要です。コミュニティバスのルート見直しではこれらの検討を要望します。

加藤 勉 議員

テレワークの推進について

議員 テレワークに関する市の見解と取り組みへの考え方を伺います。

市長公室長 テレワークのサテライトオフィスを、市が主体となりサブプラ内に整備すべきと考えますが、いかがでしょうか。

市長公室長 本市においてテレワークの推進方策の検討に当たり、サブプラへのテレワークスペースの設置も選択肢の一つになっています。本市において先般、筑波都市整備(株)及びイトーヨーカ堂と地域活性化等に関する包括連携協定を締結しています。その中で、三者で協議すべき連携事業として、サブプラへの coworking space 等の設置も含まれています。本市においてテレワークスペースを整備するに当たっては、設置場所、事業主体、運営方法等、どのような手法が適切なのか、幅広い視点で検討してまいります。

議員 ウイズコロナ、アフターコロナを見据えて、複数の企業や個人事業主等が共同で利用する共用型のサテライトオフィスを、市が主体となりサブプラ内に整備すべきと考えますが、いかがでしょうか。

市長公室長 本市においてテレワークの推進方策の検討に当たり、サブプラへのテレワークスペースの設置も選択肢の一つになっています。本市において先般、筑波都市整備(株)及びイトーヨーカ堂と地域活性化等に関する包括連携協定を締結しています。その中で、三者で協議すべき連携事業として、サブプラへの coworking space 等の設置も含まれています。本市においてテレワークスペースを整備するに当たっては、設置場所、事業主体、運営方法等、どのような手法が適切なのか、幅広い視点で検討してまいります。

山崎孝一 議員

災害時の市民への情報伝達について

議員 災害、特に自然災害時の防災行政無線の放送が、大半の市民の方が何を言っているのかわからないと訴えております。今後、令和3年までに防災行政無線のデジタル化工事が完了すると聞いております。現在の気密性の高い住宅でも音声が届きにくい状況ではないかと懸念しております。当市において、防災行政無線の戸別受信機の設置、または防災ラジオの導入について、今後どのような方針で取り組むのかお聞きいたします。

危機管理監 昨年度から令和3年度までの間の防災行政無線のデジタル化工事に伴い、既存のアナログ式戸別受信機の使用ができなくなることを踏まえ、戸別受信機または、防災ラジオの配備方針について再考する最良の時期であると認識しております。

議員 現在、着手している防災情報システム整備事業における戸別受信機の配備予定数量は、100台となっております。配

先は、市内の公共施設や消防署などの防災関係機関を想定しております。

議員 今後は、水災害や家屋等への被害が想定される地区への配布、戸別受信機を希望する方々への購入配備を検討してまいります。

議員 デジタル化に伴い、新規に100台を防災機関等に配備することですが、併せて災害が予想される地域に最優先的に戸別受信機または、防災ラジオの導入をされませう、強く要請いたします。

掲載以外の質問項目

◆当市の避難所について

◆街なか元気アップ支援事業の進捗状況と課題について

常任委員会での審査内容

※第3回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務、文教福祉、環境生活）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について掲載しています

▼総務委員会

令和2年請願第2号 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願について、委員より意見があった後、採決の結果、賛成少数で不採択とすることに決しました。

委員 欧米のように証拠開示を法律で定める国も多いことから、再審における検察手持ち証拠の全面開示に賛成です。

また、再審請求には膨大な証拠を出す必要があるため、なかなか起こすことができない現状の上、再審開始決定が出されても、検察官の不服申立てにより決定が取り消されてしまうと、また再審を起こすために、振り出しにもどつて新たな事実を探さなくてはなりません。このことから、再審開始決定に対する検察の不服申立ての禁止にも賛成します。

委員 この請願が、はたして地方議会において審査を行うことが適当なものなのか、疑問に感じています。他の議会においても、意見が分かれており、やはり、内容が地方議会になじまない為ではないかと思えます。冤罪はもちろんあつてはならないことですが、この請願に対しては賛成しにくいと思えます。

委員 この内容については、平成29年3月から、最高裁判所、法務省、日本弁護士連合会、警察庁の担当者で構成する「刑事手続に関する協議会」が開かれ、協議や意見交換が行われています。それを見守ることが当然であると思えますので、この請願には反対します。

▼文教福祉委員会

議案第6号 令和元年度龍ヶ崎市一般会計歳入歳出決算の所管事項について、委員より質疑があった後、採決の結果、賛成多数で認定しました。

委員 放課後児童健全育成事業について、学童保育において、軽度の発達障がいを持った子どもへのサポート支援は、どのように行っているのですか。

教育部長 学童保育の申請時に、お子さんに発達障がいがある場合、あるいは発達障がいである場合には、その旨の申し出をいただいています。

お子さんの状態を確認させていただきながら、加配措置が必要ということになれば、お子さんの状態にあわせて、必要な支援員を配置するといった対応を、従来から行っています。

委員 駅前子どもステーション管理運営費について、駅前子どもステーションは、電車を利用して就労されている保護者を想定して設置したと思いますが、現在、電車を利用して就労されている方は何人いますか。

福祉部長 開設当時は、龍ヶ崎市駅を活用する方を想定していましたが、現状では、車で通勤されている方も利用されています。内訳は、電車通勤の方が24名、車通勤の方が22名です。



▲駅前子どもステーションと保育所等をバスで送迎

▼環境生活委員会

報告第15号 令和2年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第9号）の所管事項について、委員より質疑があった後、採決の結果、全員異議なく了承しました。

委員 都市公園管理費について、工事請負費の内容を伺います。

都市施設課長 市民健康の森の既存園路に加え、樹木を間伐し森林内を周遊できるように、新たに150mの園路を整備するものです。

また、間伐材は、園路の脇に設置するベンチと森林環境譲与税による整備であることを明記する看板に再利用する予定です。財源はすべて森林環境譲与税を活用しています。

委員 コミュニティバス運行事業について、停留所の要望があり4か所増やすとのことですが、今年度は他に運行ルートの変更等を検討されているのですか。

都市計画課長 昨年9月に運行ルートを改編したところですが、その後、利用者や事業者から運行ルートやバス停留所を変更して欲しいという要望等があり、新旧停留所の標識を新たに設置或いは再設します。

具体的には、南が丘・長沖線、長戸・白羽線、八原線において、バス停留所の設置や変更、運行ルートの一部変更などを行う予定です。



▲コミュニティバスの停留所を一部新設、再設します

推選

教育委員会委員

再任



さいとう まさる 齋藤 勝 氏

議会の活動

- 8月 17日 議会運営委員会
- 18日 全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 9月 1日～15日 第3回定例会
- 15日 全員協議会
- 28日 広報委員会

ユーチューブ YouTube



で議会を見よう！

龍ヶ崎市議会では、本会議の様子を Youtube (ユーチューブ) で配信しています。

スマートフォンやパソコンなどがあれば、ライブ映像や録画映像をご覧ください。

また、龍ヶ崎市議会チャンネルを登録いただくと、新しい動画が公開された際や、ライブ配信が開始された際、通知を受け取ることもできます。ぜひ、チャンネル登録をお願いします。



まちかどピククス

龍ヶ崎市立歴史民俗資料館では、現在、写真展「牛久沼―水辺の記憶―」を開催しています。写真家の佐藤有氏が、半世紀以上にわたり撮り続けてきた、牛久沼の写真が展示されています。

同時に、「近年の牛久沼の写真スライド上映会(要予約)」も開催しています。 ※11月23日まで開催(休館日を除く)、入館無料(問合せ) 歴史民俗資料館



編集後記

新型コロナウイルス感染症は日々の暮らし方、働き方など、これまでの社会を大きく変え、新たな日常が動き出しています。

龍ヶ崎市議会においても運営方法等を模索しているところ。リモート中継

による審査への参加やアプリを活用した議員間の情報共有など、新たな試みを始めています。

9月の定例会はコロナ対策を講じながら、昨年度の決算や今年度の補正予算などについて審査が進められました。コロナに係る

内容が多く議論されました。市民の皆さんもコロナへの関心が非常に高いと思われる。

今年の流行語大賞はやはり、コロナ関連の言葉で決まりでしょうか。

2013年には人気ドラマ「半沢直樹」の決め台詞「倍返し」が年間大賞に選ばれました。今年も同ドラマから多くの名台詞が飛び出し、話題となつています。コロナに負けず、半沢直樹2度目の受賞もあるかもしれませんね。

岡部賢士 記



次の議会

12月4日

開会予定です

令和2年第4回定例会は

広報委員会

- 委員長 山宮留美子
- 副委員長 後藤光秀
- 委員 石嶋照幸
- 委員 伊藤悦子
- 委員 加藤勉
- 委員 岡部賢士